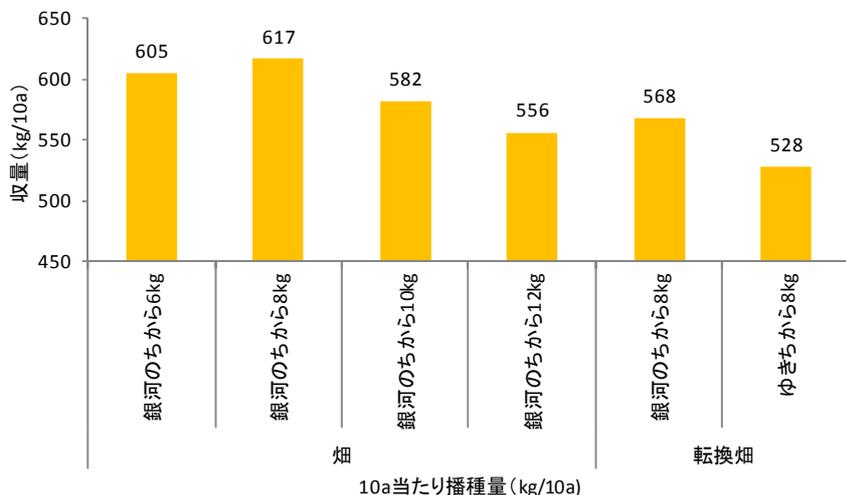


研究レポート No.796 岩手県農業研究センター

超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法

【1 成果概要】

(1) **播種量**は **6~8kg/10a** とし、播種時の碎土率や土壤水分など条件に応じて加減します。



播種量別の収量 (北上: H27 産)

播種量 10kg/10a 以上では収量が低下。

(2) **融雪期窒素追肥**は**収量水準**と**越冬後茎数**に応じて **2~6kg/10a** の間で調節します。

収量と越冬後茎数に応じた融雪期窒素追肥量

収量水準 (kg/10a)		越冬後茎数 (本/m ²)		
坪刈	全刈 (目安)	300以下	300-600	600以上
400	280-320	N4	N2	
500	350-400	N4		N2
600	420-480	N6		N4

注) 全刈収量は坪刈収量の 7~8 割として推定

注) N2,N4,N6 は各々窒素成分で 2kg,4kg,6kg の追肥を表す

【2 期待される効果】

良質な県産超強力小麦の安定生産供給が図られます。(普及見込み面積 200ha)

【3 留意事項】

- 本成果は、基肥量を窒素成分 4~6kg/10a の条件においてとりまとめた結果です。
- 収量が増加するにつれて、原粒タンパク質含有率及び容積重が低下する傾向があります。原粒タンパク質含有率及び容積重が低下しないよう、後期窒素追肥を確実に実施しましょう。

【4 適応地帯】

「銀河のちから」の栽培地帯 (根雪期間が 80 日以下の平坦地)

担当研究室 技術部 作物研究室

〒024-0003 北上市成田 20-1 TEL. 0197-68-4417 FAX. 0197-71-1083